



学校だより

第3号

令和5年3月13日発行

神奈川県立えびな支援学校

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。小学部の卒業生は、学部の半分を、中学部、高等部の卒業生については、入学から卒業まで、コロナ禍で活動の制限を受けながらの学校生活でした。そんな中でも、保護者の皆様や地域の皆様のご理解ご協力のもと、えびな支援学校では、少しずつ教育活動の範囲を広げ、できる限りの活動を進めてまいりました。卒業生に限らず、在校生の皆さん、保護者の皆様、そして私たち職員も含め、経験したことのない新しい時代を迎えようとしています。本校の児童生徒一人ひとりが、新しい時代でも自分らしく生きていけるようになることを願っています。1年間ありがとうございました。

(B 高等部長 高橋)

A 部門 中学部

1月16日にロマンスカーミュージアムに校外学習へ行ってきました。寒さと小雨が降る中でしたが、子どもたちの熱い！気持ち勝っているためか雨も寒さも気にする様子は全く見られず。むしろ、雨の中の外出が少ないためか、雨に濡れることに楽しんでいる様子が伺えました。子どもたちの学習の機会ではありましたが、私たち教員も学習させてもらえた一場面となりました。ロマンスカーミュージアムでは、本物の電車を間近で見たり触れたり感じたりと、ここでしか経験することができないものでした。これからも子どもたち一人ひとりにとっての“ここでしか経験することができないもの”を積み重ねられるように、子どもたちと一緒に日々模索していきたいと思えます。



AB 部門 小学部 5・6 年

一年を振り返り、やはり修学旅行が一番の思い出でした。八景島シーパラダイスでは、たくさんの魚や優雅に泳ぐイルカ、鯉の餌やりもしました。お土産も吟味して購入しました！電車での移動は、シーサイドラインと京浜東北線に乗り、静かにじっくりと車窓を楽しみました。ご家族にも羨ましがられたインターコンチネンタル横浜に泊まり、みなとみらいの素敵な夜景と海を眺めながらゆっくりと過ごしました。夕朝のごはんはビュッフェスタイルで各々が好きな物を好きなだけ(?)堪能しました♪翌日はヨコハマエアキャビンにも乗り、楽しい修学旅行を過ごしました。



B部門 中学部3年生

B中3年生は1月27日に遠足でズーラシアに行きました。気温が低いという予報だったので防寒対策をしっかりと行って来ました！！

動物が好きな生徒が多く、どの生徒も動物の檻の前に着くと、その動物をジーッとよく見て観察していました。中には動物の大きさにびっくりして、固まってしまった子もいました。また生徒たちには、順番に並んで友達と列になって一緒に歩くことを伝えていたので、その約束を守り、全員で楽しみながら動物を見ることができました。園内でたくさん歩き、疲れたせいか、帰りのバスの中で寝ている生徒も多かったです。



中学部最後の校外行事でしたが、全員で行くことができ、怪我もなく、無事に帰ってくることができました。

B部門 高等部2年生

B部門高等部2年生は1月に校外学習で平塚市美術館に行きました。陶芸家・富岡奈津江氏の「陶のいきもの」の作品を鑑賞しました。そこでは、生徒に好きな作品を見つけ、コメントするミッションが与えられました。ゴリラやペンギンなど約30点の動物の作品の中から「きれい」「おもしろい」「すてき」などのコメントを好きな作品に残すことができていました。

美術館という場で生命力あふれる作品を通し、普段得られない刺激を味わう貴重な経験ができたことと思います。また、事前に学んでいた館内でのマナーをしっかりと守れていました。次年度にある修学旅行でも同じようにマナーを守って楽しんでほしいです。



地域連携係からのお知らせ

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ボランティアさんと一緒に教育活動を行う機会を増やしていくことができました。学習ボランティアさんにおきましては、プール活動のサポートや校外学習の同行などで、児童生徒たちとたくさん関わっていただきました。また、見守りボランティアさんにおきましては、1年を通して登下校のサポートをしていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

ふれあいサロン、ひだまりサロンに関しましては、残念ながら再開するには至りませんでした。来年度以降も感染症対策を行いながら、さらに地域の方々と協働して教育活動を行っていきたいと思います。